

みずほCustomer Desk Report 2020/09/02 号 (As of 2020/09/01)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	106.00	1.1939	126.54	1.3365	0.7378
SYD-NY High	106.15	1.2014	127.06	1.3481	0.7413
SYD-NY Low	105.60	1.1901	126.15	1.3359	0.7360
NY 5:00 PM	105.95	1.1912	126.21	1.3386	0.7375
NY DOW	28,645.66	215.61	日本2年債	-0.120	0.00bp
NASDAQ	11,939.67	164.21	日本10年債	0.040	0.00bp
S&P	3,526.65	26.34	米国2年債	0.132	0.00bp
日経平均	23,138.07	▲1.69	米国5年債	0.254	▲1.42bp
TOPIX	1,615.81	▲2.37	米国10年債	0.671	▲3.43bp
シカゴ日経先物	23,205.00	100.00	独10年債	-0.4160	▲1.70bp
ロンドンFT	5,862.05	▲101.52	英10年債	0.2950	▲1.55bp
DAX	12,974.25	28.87	豪10年債	0.9890	0.30bp
ハンセン指数	25,184.85	7.80	USDJPY 1M Vol	7.02	▲0.43%
上海総合	3,410.61	14.93	USDJPY 3M Vol	8.33	▲0.15%
NY金	1,978.90	0.30	USDJPY 6M Vol	7.88	▲0.05%
WTI	42.76	0.15	USDJPY 1M 25RR	-1.06	Yen Call Over
CRB指数	153.34	0.13	EURJPY 3M Vol	8.25	▲0.05%
ドルインデックス	92.34	0.19	EURJPY 6M Vol	8.19	0.01%

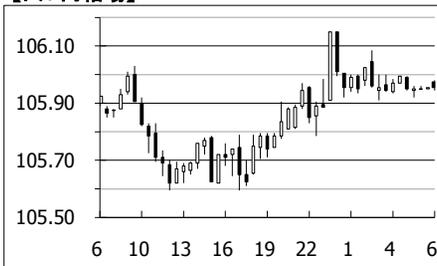
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月1日	08:30	日 失業率	7月 2.9%	3.0%
	13:30	豪 RBAキャッシュレート	1-Sep 0.3%	0.3%
	16:55	独 マークイット製造業PMI・確報	8月 52.2	53
	18:00	欧 失業率	7月 7.9%	8.0%
	18:00	欧 CPI(前月比・前年比)・速報	8月 -0.4%/-0.2%	-0.1%/0.2%
	18:00	欧 コアCPI・速報	8月 0.4%	0.8%
	22:45	米 マークイット製造業PMI・確報	8月 53.1	53.6
	23:00	米 ISM製造業景況指数	8月 56	54.8

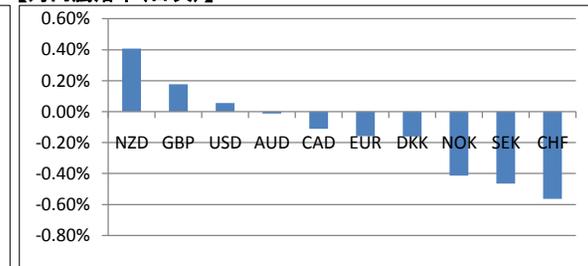
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月2日	18:00	欧 PPI(前月比/前年比)	7月 0.5%/-3.3%	0.7%/-3.7%
	21:15	米 ADP雇用統計	8月 1000k	167k
	23:00	米 製造業受注(前月比/前年比)	7月 6.1%/	6.2%/4.4%
9月3日	03:00	米 ページジュブク		

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	105.50-106.50	1.1850-1.1980	125.50-126.80

【ドル/円相場について】

昨日の海外時間のドル/円相場は動意を欠く展開。東京時間に105円台後半でレンジ相場となったドル/円相場は、NY時間に米ISM製造業景況指数が予想以上の結果になったことによりドル買いが進み、106.15円まで上昇するも、106円台では売り圧力も強く、その後は上値重く推移し105.95円でクローズ。本日のドル/円相場も、動意に乏しい展開を予想する。本日は主要な経済指標の発表等のイベントは予定されておらず、めぼしい取引材料のない中、昨日の米経済指標の好結果に対するドル/円の反応の薄さからも、上値を試す展開とはならないのでは。一方で105.60円付近での買いサポートから底値も固く、引き続き狭いレンジ内での値動きを想定したい。

東京	東京時間のドル円は106.00レベルでオープン。直後に高値106.03をつけたが、昨日の高値を抜けるのに失敗すると、その後はドル売りの展開に。ユーロ買いが進み一時ユーロドルが1.1997と2018年5月以来の高値を付ける中ドル円は105.60まで下落し、結局105.72レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、105.72レベルでオープン。アジア時間の下方圧力が和らぎ105.90まで買い戻されたが小動き。105.89レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.1979レベルでオープン。早々に1.1997まで堅調に推移するもユーロ圏8月のインフレ発表を控えてか程なく売りに押され1.1962に低下。果たして同インフレ率は予想を下回ったものの、再びユーロに買いが入り直し1.1988レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルジャー 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	海外市場でドル買いが強まりドル円は105.60まで下落するものの、このレベルでは買い意欲もあり、自民党総裁選は菅官房長官が優位との見方から、アベノミクス継続期待を背景にした円売りにサポートされ、105.89レベルでNYオープン。朝方はドル売りに105.79まで下押しするものの、10時に発表された米8月ISM製造業景況指数が新規受注が大幅に増加したことを背景に、昨日の高値106.09を抜け、106.15まで上昇する。その後はドルが買い戻される一方、クロス円が下落する動きにドル円は上値を抑えられ、狭いレンジでの推移が続く。午後に入り、ムニッヒン財務長官が景気対策めぐるパレルン下院議員と交渉の用意とのヘッドラインが伝わるが、ドル円の反応は限定的となり、106円ちょっとを挟んだ値動きが続き、105.95レベルでクローズした。一方、昨日2014年の7月以来に100円移動平均線を越えてクローズしたユーロドルは、独8月製造業PMIが予想を下回り、ユーロ高の経済への悪影響が懸念されるものの、ドル売りに海外市場で1.1997まで上昇し、1.1988レベルでNYオープン。朝方は、特段のニュースは見当たらなかったものの1.20のオプション・リアを付けに行く動きに、1.2014まで上昇する。しかし1.20台に乗せて2018年5月初め以来のレベルであり、利益確定の売り意欲は強く、米ISM製造業景況指数結果を受けドル売りもあり、1.1936まで反落する。午後ドル買いが継続したことからユーロドルは1.1901まで下落し、1.1912レベルでクローズした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 鈴木・鈴木 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	牛島	山岸	田坂	尾身	上野	山口	甲斐
ベア	ベア	プル	プル	プル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア
小野崎	玉井	原田	上遠野	小林	松本	大谷	大庭	逸見	木村	ベア
プル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア	プル	ベア	ベア	ベア
										プル
										ベア
										6
										15